

DiMarzio® ピックアップの交換手順

バーチカル・タイプの4コンダクタ（4芯）ピックアップ編

！ ハンダごてなどの工具の取り扱いには十分にご注意ください。
ピックアップは大変デリケートな製品です。お客様ご自身で交換される際に発生した事故、故障、さらにギターや他の部品の破損等は保証の対象外となります。
予めご了承ください。
交換作業に少しでも不安がお有りの場合は、専門の担当者、リペアマンにご依頼頂くことをお勧めします。

この説明書は、DiMarzio®ピックアップのうち、4コンダクタ・タイプのシングル・サイズ・ピックアップのうち、HS™、Area™、Virtual Vintage™などバーチカル・タイプの（スタック・タイプの）ハムバッキング・ピックアップに対応しています。
他の4コンダクタ・タイプ・ピックアップ（ex. フルサイズ・ハムバッカー）には対応しません。

①コイルと各線の説明、及びスタンダードなワイヤリング

- ピックアップからは赤、黒、白、緑、ハダカ線の5本が出ていますが、黒と白は予め結線した状態で出荷されます。構造上この配線を崩して使用するとハムキャンセル効果が得られません。音質に加えノイズ軽減もこの製品の大きな特長であるため、他の4コンダクタ・ピックアップで行われるようなオプション・ワイヤリングには適していません。予め、ご承知おき下さい。
- 赤いリード線をHOT（ホット）に、緑のリード線をCOLD（コールド）に結線します。

- もともとマウントされているピックアップを、ハンダごてを使用し取り外します。
その際に、HOT：ホットとCOLD：コールドが結線されていた位置をメモしておくことで、そのあとの作業をスムーズに行えます。

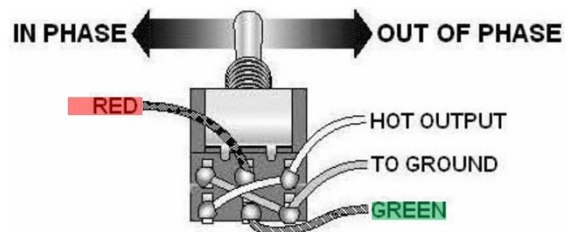
！ 他社のピックアップとDiMarzio®ピックアップとは、ワイヤーの色分けが異なります。もともとマウントされているピックアップのワイヤー・カラーでHOTとCOLDを判断しないでください。

- 付属のネジを用いてピックガードなどにピックアップをマウントします。
赤と緑のリード線の先端部（ハンダ付けする際の余裕を含めた先端部）以外を、ツイストするように巻き込むと、ノイズの軽減効果が期待できます。
- もとのピックアップのHOTと結線されていた位置にDiMarzio®ピックアップの赤いリード線を、COLDと結線されていた位置に緑のリード線を結線してください。
- ギターを組み上げ、アンプを通してスイッチやポット等が正確に動作するか、スイッチをミックス（ハーフトーン）の位置にしてフェイズアウトしなければ、これで完了です。

！ DiMarzio®のシングル・サイズ・ツイン・ブレード・ピックアップや、ハムバッカーとミックス（ハーフトーン）で使用する場合は、音が小さく低音が出ないフェイズアウトになることがあります。
また、他メーカーのピックアップとこのように使う場合も、フェイズアウトすることがあります。
回避するには、DiMarzio®ピックアップの赤いリード線をCOLD、緑のリード線をHOTへと入れ替えて下さい
また、ピックアップのハダカ線は常にアースに落として使用してください。

！ ハダカ線が他のピックアップのHOTや回路上の端子に接触しないように、ビニルテープ等で絶縁処理して下さい。
また、各ワイヤをハンダ付けする際は、確実なハンダ付け作業のために必ず予備ハンダ処理を行ってください。

②フェイズ・スイッチを用いたワイヤリング



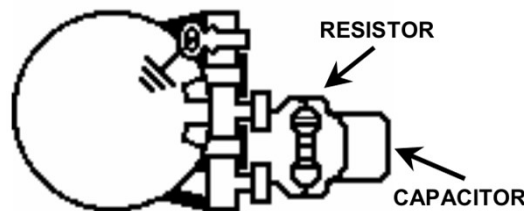
■フェイズアウト・ワイヤリング

スイッチを用い、音量が小さく低音がカットされた独特なフェイズ・サウンドを得る配線です。
左図は、他のピックアップとハーフトーンで用いる場合にフェイズアウトさせる配線方法です。
ハーフトーンで用いる二つのピックアップのうちどちらかを、スイッチに左図のように配線してください。

- DPDTスイッチを用いた配線です。DiMarzioピックアップの各色線をスイッチへ結線してください。
- DiMarzio®ピックアップのハダカ線は常にアースへ落としてください。
- ご自身のギターの回路の従来ホット線を繋いでいた部分に、“HOT OUTPUT”を結線して下さい。
- TO GROUNDはアースへ落としてください。

+ DiMarzioパーツのEP1106（6P ON-ON）を使用してこの配線を実現することができます。

③使用ポットの適正值とフィルターを取り付ける効果



■モデルごとの推奨値（ボリューム&トーンの順）

DP401/DP410/DP407/DP408/DP409/
DP411/DP412... **250kΩ & 500kΩ**

DP405/DP406/DP402/DP403/DP404/
DP413... **500kΩ & 500kΩ**

上記群と下記群のピックアップを混ぜて搭載する場合は、**いずれも500kΩ**でお使いください。

■ハイパス（ローカット）フィルター

多くのプレイヤーが、ボリュームを下げたときの高音域のロスに悩まされています。
これを解消するためには、560pFのキャパシタ（コンデンサー）と270K～300K程度のレジスタ（抵抗）を、ボリューム・ポットに図のように並列に結線しましょう。

+ DiMarzioパーツはコンデンサー：EP1560、抵抗：EP2300をお奨めします。抵抗はお好みの効き具合のものを電気店でお求めになっても良いでしょう。

+ トーン・ポットに1MΩのものを使用すると、さらに開放感のあるサウンドになります。
またトーン・コントロール・ポットには標準的な利きがお好みの場合、0.022μFのものをお奨めしています。より高音域をカットしたい場合は、0.033mFのものが良いでしょう。
ボリューム・コントロール・ポットに取り付けるコンデンサーや抵抗については、上記をご参考ください。

DiMarzio® INC.
1388 Richmond Terrace
P.O. Box 100387
Staten Island, NY 10310 USA
Tel (718) 981-9286 Tech (718) 816-8112
Fax (718) 720-5296
www.dimarzio.com

星野楽器販売

〒489-0871 愛知県瀬戸市東長根町119
TEL：0561 (89) 6900
Mail to: trd.hoshinohanbai@hoshinogakki.co.jp